



～くるくるぬりえモビールに登場する生き物たち～
飼育員ワンポイントガイド



チンアナゴ・ニシキアナゴ

穴の中からひょっこり顔を見せる姿がなんともかわいらしい魚です。みんな同じ方向を向いていることが多いのですが、それは水中を漂い流れてくる小さな餌を食べるためです。驚くとすぐに穴の中に隠れてしまったり、時々ご近所さん（近くの個体）とケンカしたり、穴を引っ越したりします。



チンアナゴ



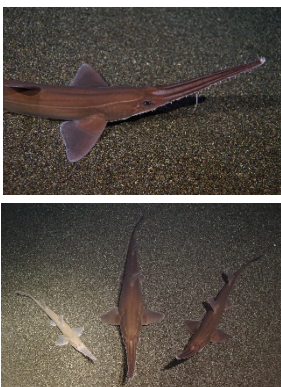
ニシキアナゴ

ナンヨウマンタ



エイの仲間では最大級になる種類です。大きくなると体の横幅は4mくらいになるので、小学校の教室にある黒板の幅と同じくらいです。大きな体をしていますが、小さなプランクトンを餌としています。頭にあるヒレ（頭鰭）は丸めていると角のようにも見えますが、餌を食べる時や方向転換する時には広げて使います。餌が水中にあるとバク転のように後ろに回転しながら餌を食べることがあります。

ノコギリザメ



頭の先が、大工さんが使う道具の「ノコギリ」に似てギザギザしています。このノコギリは獲物をギコギコと切るように使うのではなく、海底近くにいる獲物を抑え込むように使います。沖縄美ら海水族館では世界で初めて繁殖に成功し、親子兄弟仲良くくらしています。

